

コミュニティ・スクール(地域とともにある学校)

CSだより

富士第一小学校
令和6年6月6日
NO. 1
発行：CS事務局

富士第一小学校は、令和2年度にコミュニティ・スクールの指定を受け、学校経営に地域の声を活かして、学校と地域の結びつきをより一層強くしてきました。5年目になる今年度は、協議会委員の改選もあり、新メンバーを迎えてのスタートとなりました。初年度を振り返りながら、協議会委員を紹介します。

わたしたちの「富士第一小学校」

令和2年度 コミュニティー・スクールになりました

「わたしたちの地域を担う
子どもたちの輝く未来のために」

- ・学校と地域が連携・協働する。
- ・学校と地域で目標とビジョンを共有する。
- ・学校運営に地域の声を生かし、地域と一体になって特色ある学校づくりを進める。

令和6年度 富士第一小「学校運営協議会委員」(15名) 紹介

会長 松永真代 副会長 鈴木康弘



富士かじま
児童クラブ統括主任



富士駅北まちづくり
協議会副会長

青山泰謙 (かじま児童クラブ運営委員など)
海野光由 (富士駅北まちづくり協議会会長)
河合辰哉 (私立するが幼稚園園長)
島田圭悟 (富士駅北まちづくり協議会副会長)
中村 誠 (富士駅北まちづくりセンター長)
山田将史 (令和6年度富士第一小学校PTA会長)
服部英之 (令和6年度富士市PTA連合協議会会長など)
宮崎朱美 (3年生放課後学習支援かじま教室など)
望月聖子 (ふれあい協力推進員、おはなし会)
山本真人 (富士第一小学校校長)
池田 潔 (富士第一小学校教頭)
渡邊梨沙 (富士第一小学校主幹教諭)
田中英子 (富士第一小学校CS事務局)

学校も地域も Win&Win になれる取組を目指して

～かじま縁でつながるまちづくり～「こども見守り隊」

目的

1. 昔から交通量の多い地区なので、子供の交通安全と健やかな成長を願って実施する。
2. 学校縁でつながる富士駅北地区の地域づくりのためにあいさつ運動も同時に実施する。
3. 学校と地域、子供と大人、大人と大人がつながり安心して暮らせる地域になるために実施する。

方法

1. 取組は、まちづくり協議会や区長会を通じ地域全体で実施する。
2. 地域の団体で子供の見守り活動を実施している団体にも協力をお願いする。
3. 学校では、先生方が名札にバッジをつけ、子供たちにながら見守りの趣旨説明をする。また、地域の人にあいさつをするよう指導する。
4. 地域では、散歩に出たときや買い物に行くときに、バッジをつけて、子供の見守りをする。
5. バッジは、富士駅北まちづくりセンターで無料配布する。



どこにいても いつまでも 富士駅北地区の大切一員

富士駅北まちづくりセンター



学校では、年度末になると感謝をする会が開かれます。

- ① 6年生が、6年間過ごした学び舎に感謝をして、きれいに清掃をする会。
- ② また、6年生が在校生やお世話になった先生方、地域の方々へ感謝をする会。
- ③ 在校生が学校のリーダーとして学校のみんなを引っ張ってくれた6年生に感謝をする会。 等々

学校運営協議会でも、地域の子供たちの節目を祝い、地域の大人の気持ちを可視化できるように、まちづくりセンターにメッセージを出しました。

「高校生の皆さん。中学生の皆さん。小学生の皆さん。卒業おめでとうございます。」

(まちづくり協議会・学校運営協議会)

卒業して富士を離れることになっても、どこにいても、いつまでも、みんなはこの富士駅北の大切な一員です。「どんな時も常に挑戦する気持ちを忘れないで頑張ってください。」という思いを込めたものです。